

長崎県諫早市で「通り名」によるまち歩きプロジェクトを実施

諫早市は、長崎街道や多良街道、島原街道が交わる交通の要所として、昔から重要な役割を果たし栄えた町です。今でも長崎、島原、鹿島、大村方面の交通が交わり産業が集積したまちとなっています。その一方でまちは郊外型店舗が立ち並ぶなど、かつて賑わっていた中心市街地は、現在では賑いが薄れています。

そこで、かつての諫早中心市街地の活性化のため、文化・歴史等の魅力に触れ、楽しくまち歩きができる「通り名」によるまち歩きプロジェクトを実施しました。

通り名の由来発掘や回遊のストーリーづくりを地域住民や学識者、行政が協働で行い「通り名」道標の設置と「通り名」まち歩きマップを作成しました。

今後、諫早市でのまち歩き観光が促進され、地域活性化が図れるものと期待されます。



▲まち歩きによる地域資源の掘り起こし

「通り名」を活用した住民・行政協働のまちづくりプロジェクトを実践



▲地域の歴史や周辺情報を満載した「通り名」まち歩きマップ

←クリックでPDFファイルがダウンロードできます。



▲プレートは、地域の景観にあった色・デザインを検討し、地域の商店や住宅で設置協力を呼びかけ取り付けました。



▲「通り名」の命名や、マップの作成にあたっては、地域住民が一同に会するワークショップを開催しました。

プロジェクト参加者の意識調査

プロジェクト参加者対象にアンケート調査を行いました。

1. 実施期間 : 平成 20 年 11 月～平成 21 年 3 月
2. 実施方法 : ワークショップ参加者に配布・回収方式
3. サンプル数: 19

プロジェクトを実施すると参加者の「まちへの愛着」「まちづくりへの意欲」等の意識が高くなっていることがわかります。

